

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和6年度）

1. 施設名等

施設名	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	所在地 電話番号 ホームページ	別府市新港町、船小路町、汐見町 0977-23-5599 http://oita-ks.jp/
-----	--------------------------	-----------------------	--

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名 称 所在地 指定期間	株式会社ササキコーポレーション 別府市新港町942番5号 令和6年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課 （局・室）	土木建築部 港湾課 TEL：097-506-4614
-------	--------------------	---	-----------------	-------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成12年10月1日		
設置根拠	大分県港湾施設管理条例		
設置目的	人の流れの拠点となる別府港石垣地区では、国際・国内観光港として機能を発揮させるため旅客上屋の整備、憩いの場となる緑地等を整備している。 3号上屋は昭和56年に、緑地は昭和59年から平成3年までの間に順次供用開始してきたものである。機械管理駐車場は、放置車両対策の一環として整備を行い、平成12年10月に第1・第2駐車場を、平成13年7月に第3駐車場を供用開始したものである。		
事業内容	①港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ②港湾施設の利用促進に関すること。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。		
施設内容	機械管理駐車場 第一駐車場 普通188台、第二駐車場 大型16台 普通198台、第三駐車場 普通82台 県営3号上屋 貸付区画13区画、貴賓室1室、トイレ2箇所、エレベーター1基、エスカレーター1基、空調機器1基 石垣地区緑地 芝生、樹木、遊歩道、トイレ、水飲み場、ベンチ		
使用料等	第1・3駐車場		第2駐車場
	1時間以内	100円	1時間以内 100円
	1時間30分	200円	1時間30分 200円
	2時間以内	300円	2時間以内 300円
	2時間超～7時間以内	400円	2時間超～7時間以内 400円
	7時間超～12時間以内	500円	7時間超～12時間以内 500円
	12時間超～18時間以内	600円	12時間超～18時間以内 600円
	18時間超～24時間以内	800円	18時間超～24時間以内 800円
	24時間超～30時間以内	1,000円	24時間超～30時間以内 1,000円
	30時間超～36時間以内	1,200円	30時間超～36時間以内 1,200円
	36時間超～42時間以内	1,400円	36時間超～42時間以内 1,400円
	42時間超～48時間以内	1,600円	42時間超～48時間以内 1,600円
	48時間超～54時間以内	1,800円	48時間超～54時間以内 1,700円
	54時間超～6時間毎	200円加算	54時間超～6時間毎 100円加算
閉館日	年中無休 （ただし、施設の改修工事または災害による安全確保の必要がある場合には、臨時に閉鎖する場合がある） ※3号上屋は、午前5時から午後8時まで開館している。		

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
【目標指標①】 県営3号上屋の活用による イベント開催回数 （一般参加が可能であるもの）	3年度	90	108	120.0%
	4年度	95	79	83.2%
	5年度	100	87	87.0%
	6年度	100	118	118.0%
【目標指標②】 県営3号上屋の活用による イベント参加者が100人以上となる日数 （一般参加が可能であるもの）	3年度	40	12	30.0%
	4年度	45	13	28.9%
	5年度	50	45	90.0%
	6年度	50	51	102.0%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	3年度	4,859	5,571	5,892	6,818	6,224	5,489	
	4年度	7,175	10,606	6,801	7,289	18,767	6,632	
	5年度	8,273	9,635	6,207	6,185	8,324	8,677	
	6年度	7,651	7,530	8,768	7,032	7,806	7,413	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	3年度	6,670	7,082	7,647	7,347	4,931	6,695	75,225
	4年度	8,488	9,336	7,033	6,464	6,094	8,495	103,180
	5年度	8,227	8,355	7,272	6,467	5,850	7,464	90,936
	6年度	6,477	6,062	3,468	4,881	6,524	7,711	81,323

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	イベント主催者、参加者に対してアンケートの実施（施設を知った理由や利用回数、印象などをそれぞれの項目ごとに割合で表示）				
	実施結果		アンケート内容	内容	評価	
		Q1	施設を知った理由	1, 知人 2, 新聞 3, 市役所 4, インターネット 5, その他	41% 1% 1% 26% 23%	
		Q2	施設の利用回数	1, 初めて 2, 2～5回 3, 6回以上	26% 31% 42%	
		Q3	施設に来た目的	1, 展示会 2, 古物市場 3, フリマ関係 4, 健康診断	13% 13% 68% 5%	
		Q4	施設の印象	1, 大変良い 2, 良い 3, 悪い	68% 32% 0%	
		Q5	施設のスタッフの印象	1, 大変良い 2, 良い 3, 悪い	77% 23% 0%	
利用者等からの主な意見・要望・苦情				左の対応状況		
緑地と隣接する施設より「境界線を越えて枝葉が伸びてきている」				順次剪定・伐採を行い、改善済		
第1駐車場入り口 降雨の際の水たまりを改善してほしい				専門業者と対応を検討中		
新札・新硬貨に対応してほしい				機械更新 対応済		
フリーマーケットを盛り上げてほしい				出店者・来場者に聞き込み、問題点の洗い出しや改善点を検討。SNSを通じて若者世代にも周知させる。		

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	○ フリーマーケットの開催にあたって、出展者組合代表者と連携をとり、大分合同新聞で「ラーン&プレー」や「ぶんぶん」の広告スペースを使った告知を行った。 ○ 別府市役所や商工会議所を訪問し、イベント募集のチラシを配布するなどの広報を行った。
イベント等の充実	○ 開催したイベント オークション、フリーマーケット、弁当製造販売、商品展示・商談会、豊かな海づくり大会、骨董蚤の市 等

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入額(A)	41,905	41,101	46,283	39,852
内 訳	県からの委託料			
	利用料金	24,852	37,573	36,319
	事業収入(イベント収入)			3,318
	自主事業収入(レンタル売上)			215
	その他	17,053	3,528	0
支出額(B)	25,991	32,890	43,491	28,245
内 訳	人件費	8,179	9,185	13,066
	維持管理費	7,061	6,485	12,672
	事業費(イベント支出)			29
	自主事業費	6,121	7,360	0
	その他(広告宣伝費、運送費、消耗品費)	4,630	9,860	2,478
収支差額(A-B)	15,914	8,211	2,792	11,607

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和3年度	1,754	1,643	1,615	2,133	1,668	2,131	
	令和4年度	2,566	3,814	2,170	2,683	2,404	2,641	
	令和5年度	3,404	3,504	2,635	2,845	2,994	3,462	
	令和6年度	2,922	2,921	2,939	2,870	2,958	3,084	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和3年度	2,393	2,539	2,145	2,889	1,429	2,513	24,852
	令和4年度	3,662	2,805	2,401	3,280	2,548	6,599	37,573
	令和5年度	3,330	3,460	2,710	2,419	2,638	2,012	35,413
	令和6年度	3,148	3,396	3,208	3,036	2,549	3,215	36,246

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(正規職員1名)								
	監視・料金回収・一般事務・上屋管理業務(正規職員2名)								
	監視及び3号上屋・緑地清掃業(パート1名、嘱託職員1名、臨時職員2名)								
	職員数 (R6.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		3	1	1		2			7

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	○ 業務中の災害を防ぐため、専門業者の指導の下スタッフのトレーニングを行った。
防災に関する研修・訓練	○ 緊急時対策、防犯・防災対策について、マニュアルを作成し、職員に指導を行った。 ○ 年2回の消防訓練を継続するとともに、自然災害を想定した避難訓練を実施。
安全対策等	○ 夜間も警備員を配置し、不審物及び徘徊者の見回りを徹底。 ○ 定期巡回の際に監視カメラの点検を行い、事故、犯罪の発生確認を実施。